

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612

暑熱対策を始めましょう。

暑い時期の家畜の生産性低下を防止する方法として、暑熱対策があります。この暑熱対策は、家畜の適正な飼養管理や健康の維持により、安全な畜産物の生産と生産性の向上を目的とした、アニマルウェルフェアの飼養管理指針の一つとなる項目です。

本格的な暑さを迎える前に、できるところから取り組みや準備を始めましょう。

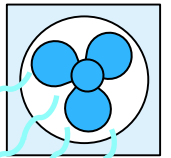
○畜舎外の対策

- ・遮光ネットやよしずの設置
- ・断熱材の設置
- ・屋根などへの遮熱材（石灰乳等）の塗布による輻射熱抑制



屋根への石灰の吹きつけ

農林水産省
ホームページより



ネットに植物を這わせる

○飼養管理面の対策

- ・密飼い防止
- ・敷料交換の期間短縮
- ・良質な粗飼料と清潔な水の給与及びミネラルの補給（重曹の添加など）

○畜舎内の対策

- ・換気扇や送風機での送風
- ・畜体への散水

阿蘇地域防疫対策会議を開催しました。

令和2年7月10日（水）と11日（木）の2日間に分けて、管内養豚農家、市町村畜産担当者を対象に、阿蘇地域防疫対策会議を開催しました。

会議では、家畜伝染病予防法の一部を改正する法律の概要、改正された飼養衛生管理基準などについての説明を行いました。特に飼養衛生管理基準に関しては、畜産農家が自己チェックを行い、その後に家保が確認・指導する流れに変わったことや、飼養衛生管理者を選任することが義務付けられたことなどを説明しました。



夏場の死亡牛BSE検査とレンダリング処理について

夏場は暑熱ストレスによる家畜の死亡頭数が増加するとともに、気温が高くなると、腐敗が短時間で進行し、以下に示したような問題が発生することが想定されます。腐敗の進行が著しく、化製処理が困難になった死亡牛は、熊本蛋白ミール公社から腐敗牛と認定され、月齢に関係なく「腐敗牛処理料35,500円」が徴収されることとなります。

〈腐敗牛により発生する問題〉

- BSE検査不能牛の発生
- 搬入事のクレーン懸垂不能による作業負担の増大
- 悪臭による環境問題の発生

熊本蛋白ミール公社及びBSE検査所では、夏季の死亡牛の腐敗防止対策として「土曜日の特別業務」を実施します。飼養する牛が死亡したときは、熊本蛋白ミール公社への迅速な搬入及び搬入時間の事前連絡をしましょう。また、時間厳守でお願いします。

➤ 夏場の対応期間

令和2年(2020年)7月1日～9月30日

➤ 期間中の「土曜日」業務

午前 8:30～11:30 (通常どおり)

午後 1:00～ 3:00 (特別業務)

※期間中の7月24日(スポーツの日)と9月22日(秋分の日)は業務を実施します。
※期間中の日曜日、7月23日(海の日)、8月10日(山の日)、8月15日(盆休み)、9月21日(敬老の日)は休業です。

問い合わせ先：(株)熊本蛋白ミール公社 TEL 0968-26-3766

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性鳥インフルエンザ	H5N5	台湾(1件)	地鶏	6月1日
口蹄疫	0型	中国(1件)	牛	5月21日
ASF		韓国(8件)	野生イノシシ	6月1日～6月30日
		中国(13件)	豚	1月1日～6月30日
		ロシア(1件)	豚	6月24日
		ウクライナ(1件)	豚	6月3日

令和2年(2020年)7月1日現在



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。
下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

